



4-2 川棚温泉街まちなか景観整備事業
（「癒やしの庭」整備事業）

4-2 川棚温泉街まちなか景観整備事業（「癒やしの庭」整備事業）

【問題点】

川棚温泉街のまちなかに散在する空き地（廃業した旅館等の跡地）は、駐車場としての使い勝手が良い反面、殺風景な見た目が温泉地らしい情緒風情や独特の景観を失わせ、川棚温泉街に閑散とした住宅地のような雰囲気漂わせる要因の一つとなっている。また、まちなかに散在する空き地や未活用の土地が、旅行者の回遊欲求や購買欲求、事業者の出店意欲を減退させ、川棚温泉街や川棚温泉エリアの活性化を阻害している大きな要因と考えられるが、それらの土地の一つに市有地が含まれている。

【目的】

川棚温泉街の中心部にありながら未活用の土地となっている市有地が景観向上の先駆けとなって、旅行者の回遊欲求や購買欲求を満たすとともに、事業者の出店意欲を掻き立てる上向きのオーラを川棚温泉街に生み出すことで、散策やそぞろ歩き、新たな出店を促進すること。

【期待される効果】

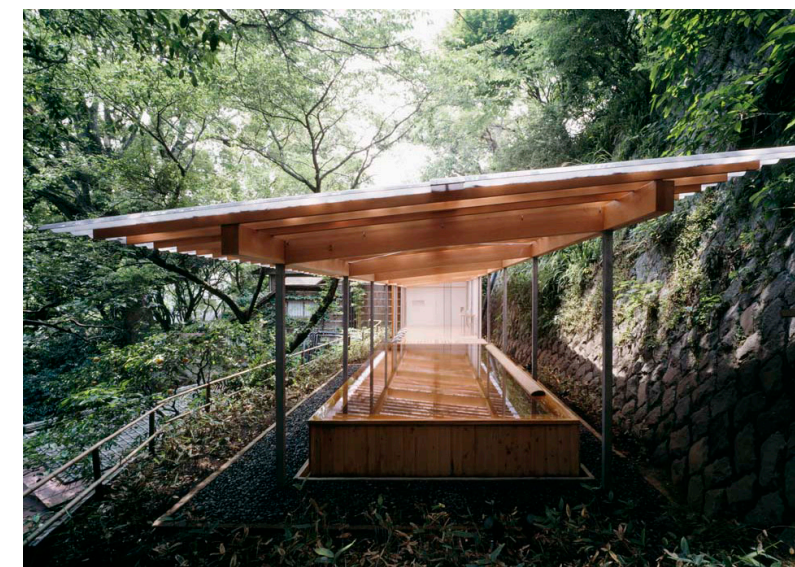
- ▶川棚温泉エリア内外への誘客
- ▶景観の改善
- ▶散策・そぞろ歩きの促進
- ▶新規出店の促進
- ▶その他洗練性・独自性・回遊性の向上



神奈川県 湯河原駅前広場（隈研吾建築都市設計事務所）



秋田県 湯の駅おおゆ（隈研吾建築都市設計事務所）



静岡県 蓬萊 古々比の瀧（隈研吾建築都市設計事務所）

癒やしの庭



誰もが訪れやすい癒やしの庭

【概要】

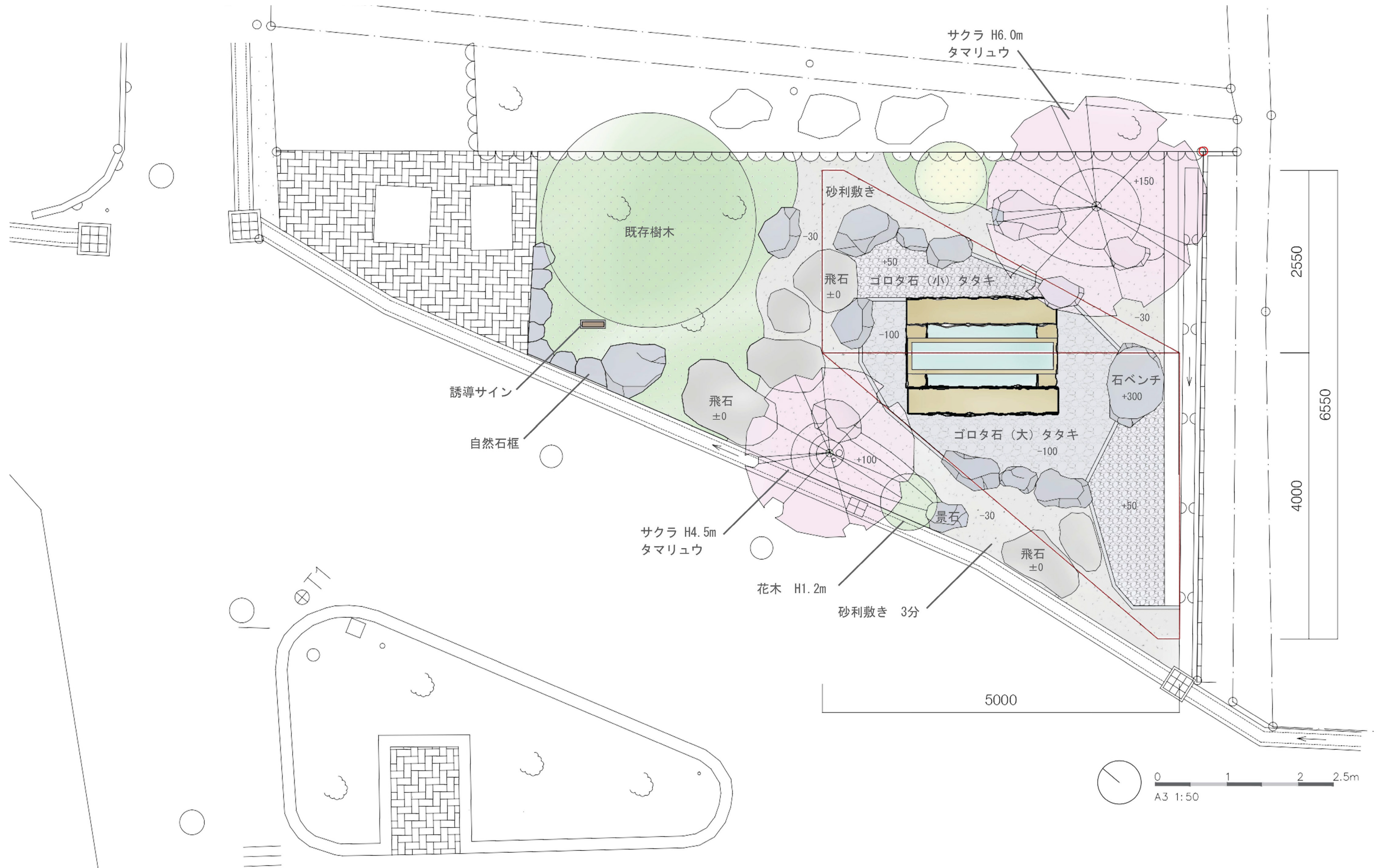
屋根範囲面積： 17.5㎡

構造： 木造

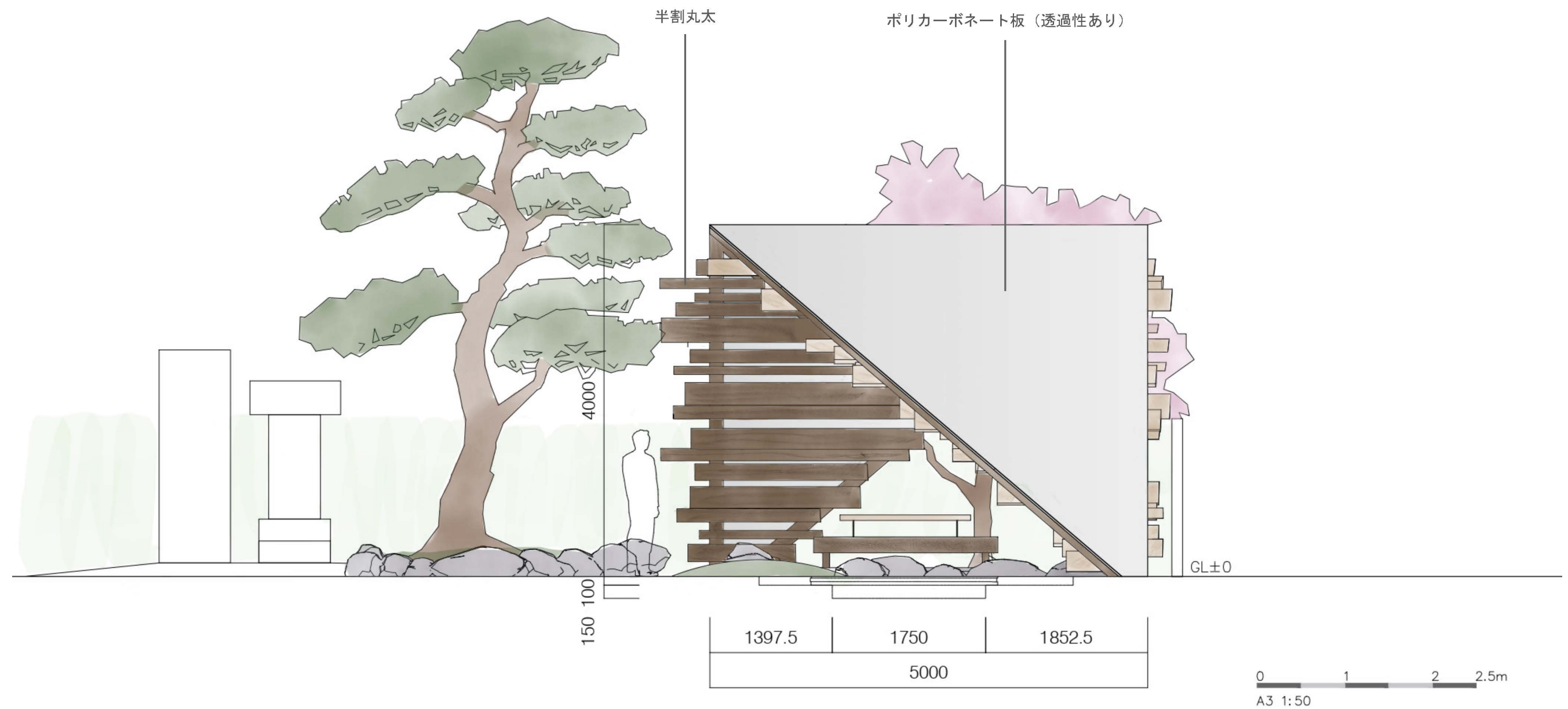
- 透過性のある素材と自然木を組み合わせた屋根とすることで、日中の明るい木漏れ日が差し込む。
- 一段低い場所に座ることで、視線が下がり自然素材の屋根や緑に、より深く囲まれた感覚を得られる。
- 靴を脱ぎ、ゴロタ石のタタキを踏みしめてから座ることにより、手湯・足湯だけでは得られない印象深さを与える。
- 隣地（北西側）との境をなくすことにより、当該隣地の既存樹木も庭の一部（借景）となり、より緑豊かな空間を演出できる。



■ 平面図

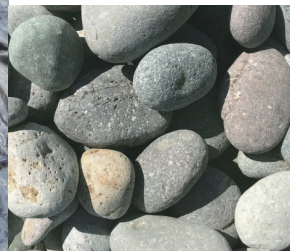


■ 立面図





■ タタキイメージ



■ 飛石



■ 景石



■ サクラ



■ 花木（ヤマブキ）



■ 花木（ユキヤナギ）



■ タマリユウ



4-3 リフレッシュパーク豊浦野外ステージ整備事業

4-3 リフレッシュパーク豊浦野外ステージ整備事業

【概要】

リフレッシュパーク豊浦に野外上映用スクリーンを設置することのできる野外ステージを整備する。

小編成のオーケストラ、ブラスバンド、ジャズバンド、ロックバンドなどが演奏できる、屋根付きのステージ。観覧者が芝生や椅子に座ったり、自由に飲食したりしながら、音楽や映画を気軽に楽しめるものとする。また、イベントが開催されていないときは屋根付きのテラス席として利用できるつくりとする。

こざ
莫蔭やレジャーシートなどの貸出や屋外用のテーブル・椅子などの設置、キッチンカーなどの出店を行えば、より多くの集客を見込める。

【期待される効果】

- ▶川棚温泉エリア内外への誘客
- ▶回遊性の向上、回遊アクティビティの促進
- ▶音楽によるまちづくり
- ▶施設の利用率・収益性の向上
- ▶新規出店（仮設店舗）の促進
- ▶SNS を利用した情報発信の促進
- ▶その他洗練性・独自性の向上



秋田県 湯の駅おおゆ（隈研吾建築都市設計事務所）



Sidney Myer Music Bowl
(Melbourne, Australia)



大分県 竹田市城下町交流プラザ
(隈研吾建築都市設計事務所)

リフレッシュパーク豊浦野外ステージ（杜のピクニックステージ）



人が集い、気持ちよく過ぐす、木でつくられた杜のピクニックステージ

【概要】

屋根範囲面積： 150㎡

構造： 鉄骨造（一部木造の可能性あり）

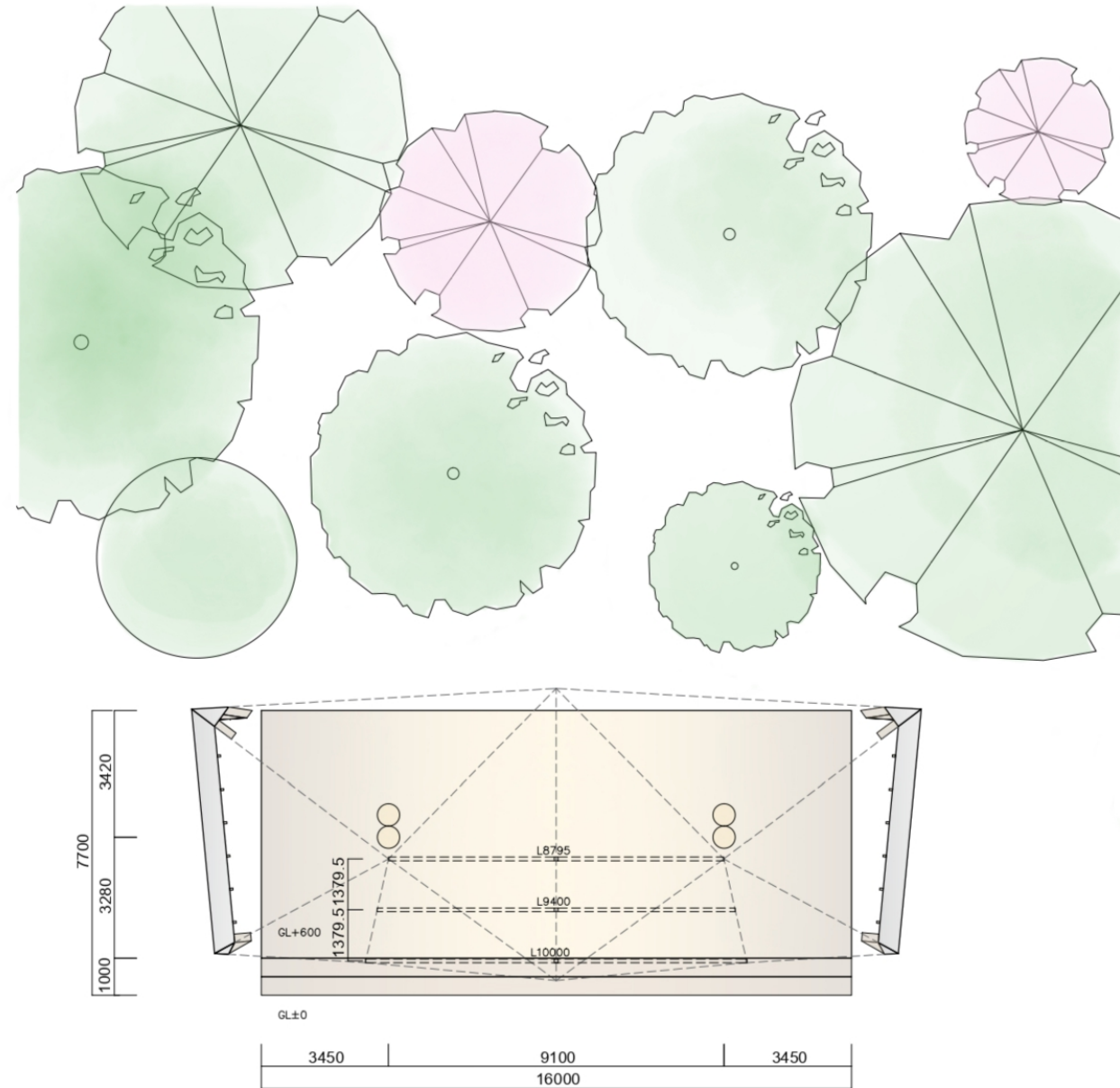
- 透過性のある素材と自然木を組み合わせた屋根とすることで、日中の明るい木漏れ日が差し込む。ステージイベントが開催されていないときには、雨よけにもなる。
- ステージを階段状のデッキとすることで、高さによる圧迫感をなくし、ステージイベントが開催されていないときは、来訪者が気軽に利用できる。



■ 平面図 -1

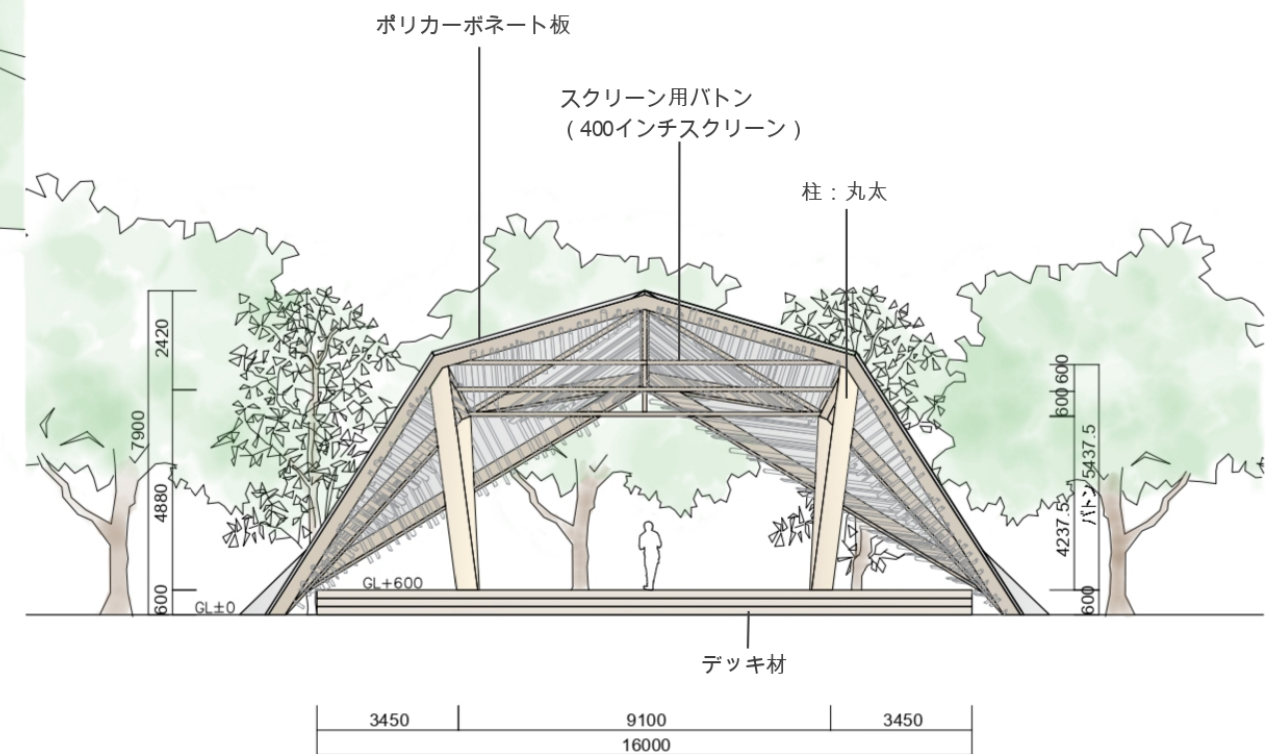


■ 平面図 -2



0 3 6 7.5m
A3 1:150

■ 立面図



0 3 6 7.5m
A3 1:150



4-4 舟郡ダム（青龍湖）アスレチックパーク整備事業

4-4 舟郡ダム（青龍湖）アスレチックパーク整備事業

【概要】

舟郡ダム堤体下流交流広場等にアスレチック施設及び堤体のライトアップ照明を整備するもの。

大人も子供も楽しめる、青龍伝説に登場する青龍や、下関市川棚温泉交流センター（川棚の杜）の形状を連想させるような、川棚温泉の独自性をアピールできるイメージとする。

木材で様々なイメージを表現した立体的なアスレチック広場では、体を動かす多様な体験を通して多世代が交流する新たなランドマークとなる。

イベント広場は、デッキやモバイルトレーラーハウス「住箱」などを設置することで、新たな事業にチャレンジできる場としても活用できる。

夜は堤体をライトアップすることで、規則的な凸凹のある堤体を美しく立体的に浮かび上がらせ、夜のイベントに彩りを添える。

【期待される効果】

- ▶川棚温泉エリア内外への誘客
- ▶散策・そぞろ歩きの促進
- ▶回遊性の向上、回遊アクティビティの促進
- ▶新規出店（仮設店舗）の促進
- ▶SNS を利用した情報発信の促進
- ▶その他洗練性・独自性の向上



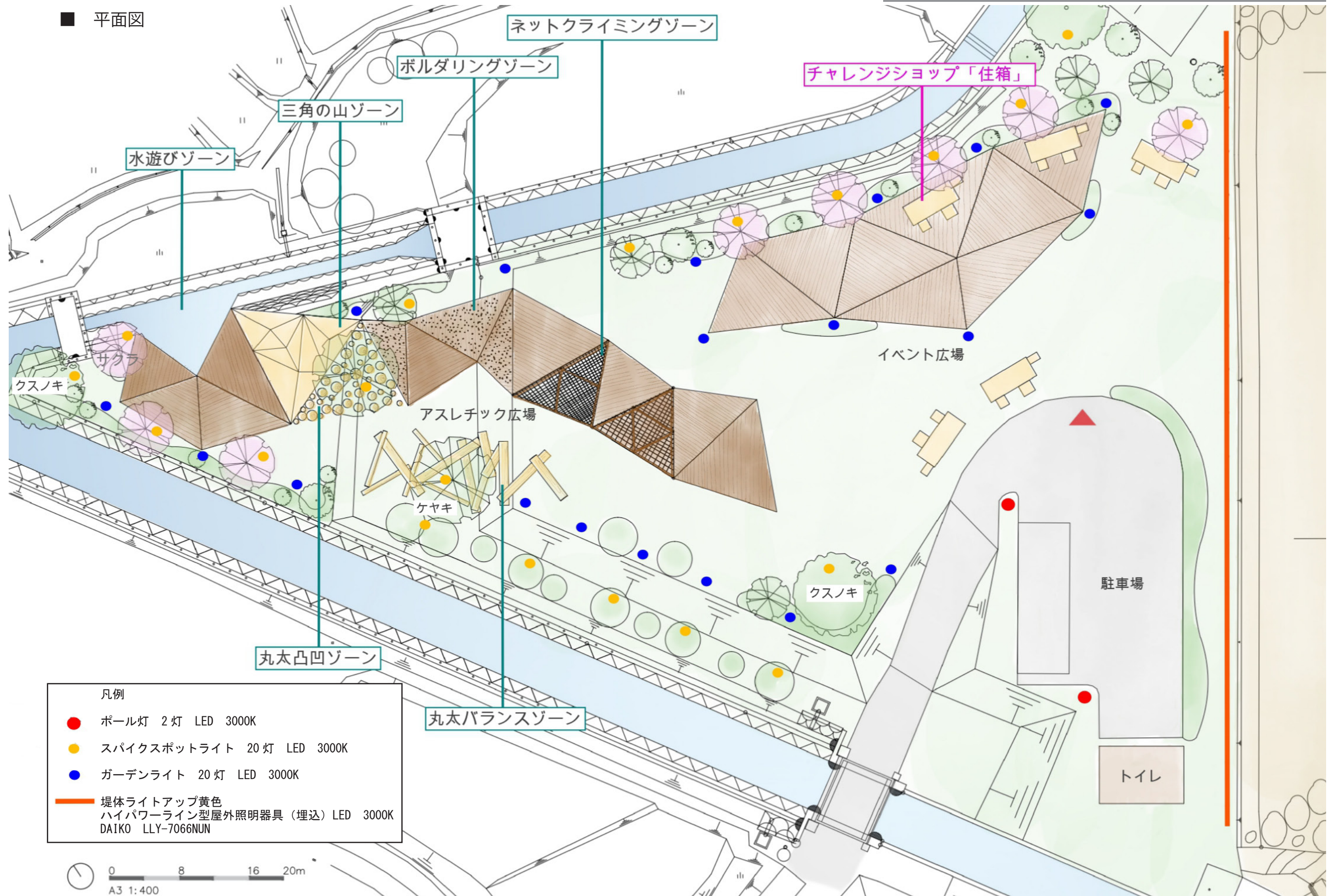
House Vision(隈研吾建築都市設計事務所)

舟郡ダム（青龍湖）アスレチックパーク



木とふれ合い、自然を楽しむ舟郡ダム（青龍湖）アスレチックパーク

■ 平面図



【概要】

計画範囲面積：約 1500m²

構造：木造（一部鉄骨造の可能性あり）

- 丸太そのままのものや、半割りにしたもの、製材したもの、様々な状態の木材を使い、**多様なアクティビティを生む**アスレチック遊具を設置する。
- 土壌を改良し、植樹することで、**より自然と調和した**場所とする。



チャレンジショップ「住箱」

「旅をする小さな建築」

住むを自由にする箱「住箱」（トレーラーハウス）。

使用者の用途に応じたオプションを追加することで、
箱を多彩にアレンジすることができ、
飲食店や宿泊施設にも転用できる。

